

横須賀・三浦・湘南版『はまかぜ』に掲載 新たな活動、連合アクション活動スタート!

新型コロナウイルス感染症が発症して、1年半を過ぎました。新型コロナウイルス感染拡大が深刻さを増してきた2020年3月最後に、連合の顔の見える活動として行って来ましたが、『連合の日街頭行動』が実施出来ていません。

連合としては、この『連合の日街頭行動』を通じて、「労働相談」「時間外勤務の問題」「最低賃金のご連絡」など、働く者の代表として、9地域連合が、各地域の主要駅で毎月、神奈川県民・市民・町民に議員団とも連携して訴えて来ましたが、新型コロナウイルス感染拡大は繰り返し、現在5波となっており、再開が出来ていない状況下、6～7月に会議を行い、『連合の日街頭行動』に頼らない情報発信をして行くことを議論しました。その結果、連合神奈川と9地域連合が地域性を考慮して、神奈川新聞・タウンニュース・電車やバスへのラッピング・中吊り広告などを実施することになりました。

三浦半島地域連合としては7月の第190回幹事会での議論を受けて、9月10日発行の『はまかぜ、横須賀・三浦・湘南版』に広告を掲載することになりました。

『はまかぜ、横須賀・三浦・湘南版』は9月10日以降に横須賀・三浦・逗子・葉山の住宅に16万1,000部ポストインされます。

また、『はまかぜ、横須賀・三浦・湘南版』以外では三浦半島地域連合五役の名刺の裏に「労働相談」を印刷して、幅広い方に周知出来るようにしていきます。

